

平成24年11月21日(水)		新聞社等配布資料	
担当部署	課(担当)	担当者氏名	連絡先
岐阜県 中濃農林事務所	農業振興課 農地整備係	丹羽 淳子	0575-33-4011 (内線228)

歴史探検！曾代用水とうだつの町並み

ウォーキングを実施しました

1 実施日時

平成24年11月17日(土)

美濃市役所 9時～9時半受付

10時出発 12時終了

2 内 容

美濃市役所をスタート・ゴールとして、曾代用水路沿い、道の駅 にわか茶屋、うだつの町並みを巡る約5kmのウォーキングイベントの計画でしたが、雨天のため、約4kmのコースに変更して実施。

初めに美濃市役所で、曾代用水土地改良区の山田理事長さんから曾代用水の歴史について説明を聞いたあと、出発。曾代用水路沿い、道の駅 にわか茶屋、うだつの町並みを巡り、12時には全員がゴール。

3 参加者

事前申込による一般参加者(84名が出席)

4 目 的

関市及び美濃市の2市にまたがる受益をもち、地域に恵みと潤いをあたえている曾代用水路沿いを、『うだつの町並み』と併せて散策することで、それぞれの歴史や魅力、保全の必要性を発見・体験して農業・農村の多面的機能の大切さについて理解を深める。

5 主 催

岐阜県中濃農林事務所

6 その他

県下全域で実施する「ぎふ水土里の体験スタンプラリー」の対象イベントです。

◆県では、農業・農村の果たす役割や魅力を多くの方に知っていただくため、「ぎふ水土里の体験スタンプラリー」を県内10箇所で開催しています。

うち2箇所以上参加された方の中から、抽選で岐阜県産品か東北地域の特産品を50名の方にプレゼントします。

◆曾代用水の概要◆

曾代用水は、美濃市の長良川左岸から取水し、小倉山と長良川の間を流れ、国道156号に沿って南下し、美濃市及び関市の田畑を潤す重要な役割を果たしています。また、火災時の防火用水や農機具の洗浄などの生活用水等としても地域で利用されています。

江戸時代前半までは、下有知村(今の関市)周辺は、水の便が悪く、干ばつがたびたび起こっていました。この地に移住してきた尾張藩の浪人喜田吉右衛門と林幽閑は、地元の豪農柴山伊兵衛と図り、長良川上流から下有知村まで用水を引く計画を立て、1663年(寛文3年)に工事を始めます。たがねと金槌を使う手作業の難工事が続き、多額の費用がかかり、喜田と林は離脱するが、柴山は計画を実行し、1675年(延宝3年)まで10年近くの歳月を要して完成したという歴史ある用水です。

